

1.17 ~ 3.11 来たるべき災害に備える連携力

- 土業の社会的役割を考える -

2015 年 1 月 31 日 (土)

< 開催時間 >

全体会 13:30 ~ (受付 13:00 ~ / 終了予定 16:30)

分科会 10:00 ~

< 会場 >

兵庫県弁護士会館 4 階講堂

(神戸市中央区橋通 1-4-3 TEL : 078-362-8700)

■ 鼎談 『支援機構の歩みと、連携の意義・課題』

歴代代表: 広原盛明氏 (京都府立大学元学長・名誉教授),

高見澤邦郎氏 (東京都立大学名誉教授),

塩崎賢明氏 (神戸大学名誉教授)

進行: 斎藤浩氏 (弁護士・立命館大学法科大学院教授)

■ パネルディスカッション

『「連携力」とは何か～市民と行政と地域が土業に求めるもの』

パネリスト (50 音順): 及川雄介氏 (仙台弁護士会), 大町勝氏 (兵庫県まちづくり部長),

野崎隆一氏 (神戸まちづくり研究所事務局長), 平山洋介氏 (神戸大学教授)

進行: 津久井進氏 (弁護士・当機構事務局長)

■ 各分科会報告

■ 分科会 (午前中開催 / 裏面参照)

- ①「すまいとくらしの復興支援: いまそしてこれから」,
- ②「被災地の鑑定評価」, ③「1.17 と 3.11 を振り返って」,
- ④「1.17 と 3.11 から考える土業の社会的役割と来たるべき大災害に備えて」,
- ⑤「福島第一原発事故の現状と土業の社会的役割」, ⑥「災害復興と住宅政策の展望」



無料・予約不要

■ 主催: 阪神・淡路まちづくり支援機構

TEL 078-362-8700 (受付時間 午前 9:00 ~ 正午 / 午後 13:00 ~ 午後 17:00)

構成団体 兵庫県弁護士会, 大阪弁護士会, 近畿税理士会, 近畿司法書士会連合会,
 土地家屋調査士会近畿ブロック協議会, 近畿不動産鑑定士協会連合会, 公益社団法人日本建築家協会近畿支部,
 近畿建築士会協議会, 一般社団法人日本建築士事務所協会連合会近畿ブロック協議会,
 公益社団法人日本技術士会近畿本部, 兵庫県社会保険労務士会, 兵庫県行政書士会

< 後援予定 >

関西広域連合, 兵庫県, 神戸市, 日本建築学会近畿支部, 災害復興まちづくり支援機構, 宮城県災害復興土業連絡会,
 静岡県東海地震対策土業連絡会, 神奈川県大規模災害対策土業連絡協議会,
 広島県災害復興支援土業連絡会, 札幌地域災害復興支援土業連絡会



阪神・淡路まちづくり支援機構

被災地における市民のまちづくり支援

1.17は忘れない



伝える
備える
活かす

防災マスコット
ははたん

阪神淡路 20 年

1.17 ~ 3.11 来たるべき災害に備える連携力 - 土業の社会的役割を考える -

「阪神・淡路まちづくり支援機構」は、阪神・淡路の被災地で市民のまちづくりを支援するために設立されました。震災から 20 年の節目に、これまでの支援機構の歩みを振り返った上で、課題を明らかにします。そして、「連携力」とは何か、市民との連携、行政との連携、地域間の連携のあり方を考えて、来たるべき災害に備えます。

全体会 2015 年 1 月 31 日（土） 13:30 ~ 16:30（予定） 兵庫県弁護士会館 4 階講堂

■鼎談『支援機構の歩みと、連携の意義・課題』

歴代代表：広原盛明氏（京都府立大学元学長・名誉教授）、高見澤邦郎氏（東京都立大学名誉教授）、塩崎賢明氏（神戸大学名誉教授）
進行：斎藤浩氏（弁護士・立命館大学法科大学院教授）

■パネルディスカッション『「連携力」とは何か～市民と行政と地域が土業に求めるもの』

パネリスト（50 音順）：及川雄介氏（仙台弁護士会）、大町勝氏（兵庫県まちづくり部長）、野崎隆一氏（神戸まちづくり研究所事務局長）、平山洋介氏（神戸大学教授）
進行：津久井進氏（弁護士・当機構事務局長）

■各分科会報告

■第 1 分科会 <復興まちづくり> 主幹：兵庫県弁護士会
土地家屋調査士会近畿ブロック協議会

『すまいとくらしの復興支援：いまそしてこれから』

東日本大震災の復興まちづくり支援の現状と課題を検討し、今後の指針づくりをめざします。

出演：気仙沼の被災者、宇都彰浩氏（仙台弁護士会）、加藤三郎氏（福島県司法書士会）、野崎隆一氏ほか

協力土業：（公社）兵庫県不動産鑑定士協会、兵庫県司法書士会、（公社）兵庫県建築士会ほか

10:00 ~ 12:30 兵庫県弁護士会館 講堂

■第 4 分科会 <防災・減災・耐震> 主幹：日本技術士会近畿本部

『1.17 と 3.11 から考える土業の社会的役割と来るべき大災害に備えて』

東日本大震災の復興まちづくり支援の現状と課題を検討し、パネリスト 4 名（技術士・建築士）でこれからの防災、減災についてディスカッションします。

協力土業：（一社）兵庫県建築士事務所協会

10:00 ~ 12:30 神戸市立婦人会館 4 階会議室「つばき」

■第 2 分科会 <復興・原発と鑑定> 主幹：近畿不動産鑑定士協会連合会

『被災地の鑑定評価』

岩手の用地買収の補償と福島の汚染地の補償の実情を知り、比較検討をします。

講師：細川卓氏（岩手県不動産鑑定士協会会長）
小橋達夫氏（福島県不動産鑑定士協会会長）

10:00 ~ 12:30 兵庫県弁護士会館 会議室

■第 5 分科会 <原発災害> 主幹：近畿司法書士会連合会

『福島第一原発事故の現状と土業の社会的役割』

原発事故に伴う被害の実態と避難者の支援や裁判等の救済について考えます。

講師：櫻井裕氏（群馬司法書士会）
増市徹氏、繁松祐行氏（大阪弁護士会）
濱西敏郎氏（近畿税理士会）

協力土業：大阪弁護士会、近畿税理士会

10:00 ~ 12:30 兵庫県司法書士会館 地下ホール

■第 3 分科会 <災害時の制度と専門家の役割> 主幹：近畿税理士会

『1.17 と 3.11 を振り返って』

各土業（税理士、社労士、行政書士等）の災害時の具体的な役割を振り返り、今後に備えます。

講師：池田政弘氏（東北税理士会）
村山豪彦氏（兵庫県行政書士会会長）
松永和美氏（兵庫県社会保険労務士会）

協力土業：兵庫県社会保険労務士会、兵庫県行政書士会

10:00 ~ 12:30 兵庫県土地家屋調査士会館 会議室

■第 6 分科会 <復興と住宅政策> 主幹：当機構付属研究会

『災害復興と住宅政策の展望』

佐々木晶二氏（民間都市開発推進機構都市研究センター副所長兼研究理事 前内閣府大臣官房審議官（防災担当）兼災害対策法制企画室長）の講演と、参加者によるフリーディスカッション。

10:00 ~ 12:00 兵庫県司法書士会館 3 階会議室

無料・予約不要

■お問い合わせ■

主催：阪神・淡路まちづくり支援機構

神戸市中央区橘通 1-4-3

兵庫県弁護士会館内

TEL 078-362-8700

（受付時間 午前 9:00 ~ 正午 / 午後 13:00 ~ 午後 17:00）



第1分科会のご案内

『すまいとくらしの復興:いまそしてこれから』

主幹：兵庫県弁護士会
土地家屋調査士会近畿ブロック協議会

時間・場所：10:00～12:30 兵庫県弁護士会館講堂

東日本大震災の復興まちづくり支援の現状と課題の検討と交流を図り、今後の指針づくりをめざします。

プログラム（内容）

報告者によるリレートーク 司会：西野百合子氏（兵庫県弁護士会）

- ① 森川憲二氏（兵庫県弁護士会）
東日本大震災の被災地自治体の調査に見る現状と課題
- ② 亀谷紀井氏（気仙沼の被災者）
被災者から見た復興の現状と被災住民の合意形成と復興実現に向けて、専門家に期待すること
- ③ 野崎隆一氏（神戸まちづくり研究所事務局長）
震災復興まちづくりにおける専門家の役割と実践活動の課題
- ④ 宇都彰浩氏（仙台弁護士会）
被災者の復興支援と法的課題の対応における視点
- ⑤ 吉江暢洋氏（岩手弁護士会）
被災地復興法制の課題と土地収用制度の改正等について
- ⑥ 石田英之氏（福島県不動産鑑定士協会）
被災元地（被災した土地）の買取り及び移転先の土地の買取り等、復興事業関係の土地の評価に関する現状と問題点
- ⑦ 大野秀朋氏（近畿税理士会）
被災地買取りにおける譲渡所得税の扱い（土地区画整理事業との違い）及び移転先土地の分譲に伴う固定資産税等の課税上の諸問題、ならびに消費税に関する課題
- ⑧ 加藤三郎氏（福島県司法書士会）
被災地の土地買取り、買収と相続登記の問題点
- ⑨ 堀井秀知氏（徳島弁護士会）
南海トラフ震災への備えに係わる、士業団体、行政、県民との連携等についての対応状況
- ⑩ 三嶋裕之氏（土地家屋調査士会近畿ブロック協議会）
阪神・淡路大震災から、東日本大震災を振り返り、復興に備える土地問題



他の分科会

第2分科会『被災地の鑑定評価』 兵庫県弁護士会館会議室

第3分科会『1.17と3.11を振り返って』 兵庫県土地家屋調査士会館会議室

第4分科会『1.17と3.11から考える土業の社会的役割と来たるべき大災害に備えて』 神戸市立婦人会館4階会議室「つばき」

第5分科会『福島第一原発事故の現状と土業の社会的役割』
兵庫県司法書士会館地下ホール

第6分科会『災害復興と住宅政策の展望』 兵庫県司法書士会館3階会議室